

開催報告



若者ソーシャルカフェ in 神奈川

今だからこそ学ぼう・考えよう～地域を変えるために私達ができること～

日時：2016年6月25日（土）13：30～17：40

会場：かながわ県民センター11階かながわコミュニティカレッジ講義室 参加者：22名

主催：NPO法人 A SEED JAPAN、一般社団法人ソーシャルコーディネートかながわ

協力：NPO法人アクションポート横浜

開催の趣旨

当たり前のように毎日住んでいる「自分の町・地域」。しかし実際には地域の特徴や魅力、どんなイベント（町内会行事やお祭りなど）が行われているか意外と知らない人も多いのではないのでしょうか。また、「自分の住んでいる地域に愛着があり、地域のために何か貢献したいけど、何から始めたらいいかわからない」という方もいるのではないのでしょうか。そのような今後地域が豊かになるために不可欠な存在である若者（15～30歳）を対象に、普段の生活では思い切って言えない、地域に対する本音や思いを語り、地域に一步近づく場として「若者ソーシャルカフェ in 神奈川」を開催しました。仕事をもちながら地域と関わり続ける2名の方のトークと、参加者同士で話し合うワールドカフェの2部構成で会を開催しました。

コーディネーター

永井亮 NPO法人 A SEED JAPAN 代表

プロフィール

東京都出身。大学1年時から所属していた大学の環境ボランティア部の活動の中で「国際青年環境 NGO A SEED JAPAN」に出会い、2015年度より共同代表を務める。団体では温暖化問題解決に向けた仕組みづくりや啓発活動などを中心に活動し、これまで数多くのワークショップ企画に携わる。一方大学時代に過ごした横浜にて、まちづくりや地域振興などのボランティア活動にも積極的に参画。



プログラム 当日の流れ

13:00

開会の挨拶

ゲストを含む参加者の自己紹介

ゲストトーク

ワールドカフェ

ASJ からの案内、閉会の挨拶

17:40



ゲスト紹介

江口健介 NPO 法人横須賀創造空間

プロフィール

横須賀市出身。大学在学中に「国際青年環境 NGO A SEED JAPAN」の活動に関わり、国際会議に向けたキャンペーン活動に参加。卒業後はベンチャー企業勤務を経て、NPO に転職。地元横須賀のまちづくり NPO「NPO 法人横須賀創造空間」の設立に携わり、地域に密着したビジネスの創出やキャリア教育を行う。



中野友里帆 株式会社大川印刷

プロフィール

愛知県豊川市出身。高知大学へ進学、「NPO 法人四国青年 NGO HOPE」に所属し合宿型イベントの運営を行う。卒業後は大川印刷へ就職。印刷営業の仕事の他、社内の地域貢献活動や、横浜でイベントの企画運営を行う。



【第1部】知る・学ぶ ゲストトーク

江口健介 NPO法人横須賀創造空間

<地元を離れて気づく横須賀への思い>

学生時代は横須賀に対する思いはそこまでありませんでした。しかし大学卒業後、横須賀を出て京都で働いていましたが、離れてみて地元横須賀に対する思いに気づき、横須賀のために頑張りたいと思うようになりました。ふとした時に感じた「地元からは逃げられない」という前向きな気づきが原動力です。

<公私混同をする>

現在は都内の環境NPOで働きながら、地元で横須賀創造空間を運営しています。NPOという仕事有特殊かもしれませんが、普段の仕事で出会う人を横須賀に連れてきたりなど、自分自身も持っている様々な経験や強みを組み合わせて行動することはとてもやりがいがあります。



中野友里帆 株式会社大川印刷

<地元愛知から高知そして横浜へ>

高校時代までは地元愛知で過ごしていましたが、地元から離れてみたい！という思いから高知の大学に進学しました。大学では8割が高知県外からの学生だったので、様々な地域の話聞くことができました。ただ、就職活動をする際は「自分はどこで働きたいのか」本気で考えました。「人と触れ合える仕事」「環境問題に関われる仕事」という要素から仕事を探し、ソーシャル系の雑誌に掲載されていたCSR企業100選の中で横浜の地域密着企業大川印刷で働くことを決めました。

<“本業を通じた社会貢献”大川印刷で働き続ける>

大川印刷の印刷業は「業種・業界を問わず多くのネットワークをもっている」「環境配慮型の印刷物の提案ができる」という点でとても魅力的であると思います。その他にも様々な地域貢献活動を、会社の主要な事業として展開しています。このように会社の外に出て初めて気づくことがたくさんありました。もっと地域を好きになって地域に認められていくために、「行動する」ことを大事に今後もがんばっていきます。

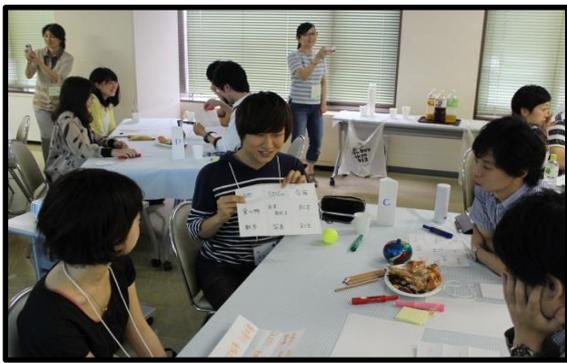


【第2部】考える・行動する ワールドカフェ 参加者同士の意見交換

ゲストトークの後は、「若者が地域とより関わっていくために」というテーマでワールドカフェという手法を用いて、全員で話し合いました。ワールドカフェとは、カフェのようなリラックスした雰囲気の中で、メンバーの組み合わせを変えながら、4~5人の小グループで話し合いを続けることにより、あたかも参加者全員が話し合っているような効果が得られる対話の手法です。今回は15分のセットを4回実施しました。最初の2セットは「私たちの知っている地域の情報」をテーマにして、「住んでいる地域」や「好きな場所」等を読み浮かべて、それぞれの情報をグループ内で共有しました。最後の2セットは「若者と地域がつながるってどんな形？」というテーマで行い、前半のテーマで出た情報を整理して、今後さらに若者が地域と接点をもっていくためにどんなことができるのかグループ内で議論しました。グループ内で以下のような意見がでました。

日本の文化で地域をつないでいく

私達が地域とつながっていくためには、「農業などを通じた現場での実習」「スポーツのようにみんなが一つになれるもの」が必要だと思います。どんな地域の課題が生じて、そのように地域で人と人の関係性を作っていることでどんなことも乗り越えていけるのではないのでしょうか。



「人がくる」地域を作る

横須賀から横浜へ、横浜から東京へ人が中心に集まり、地方の人口が減少しています。だからこそもっと地域独自のイベントやお祭りを積極的に作って、逆に多くの人がある地域にくるような「地域起こし」をやっていくべきだと思います。

地域の歴史を学び、受け継ぐ

地域の歴史を若い人が積極的に「地域の方」から聞いて、話してみることでその地域への誇りが生まれると思います。そのように縦のつながりを維持し続けることで、地域の特色や魅力を忘れずに持ち続けることができます。



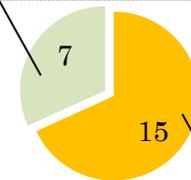
参加者アンケートより

ゲストトークで印象に残ったこと、共感できたこと

- ・地元から出ること新たな気づきが得られることに共感。
- ・戻ってきたくなくなる場所があるというのはとても大事なことだと思った。
- ・SNSがある時代だからこそ、人と地域のつながりを保っていくことは難しいと感じた。
- ・楽しいは主観だけど嬉しいは共感できるということ。

ワールドカフェで発言できた？

思うように発言できなかった

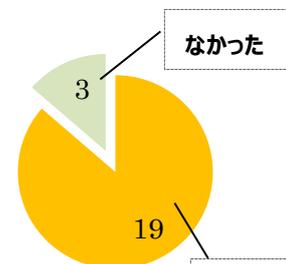


十分に発言できた

ワールドカフェをやって、どんなことがわかった？

- ・人によって地域のとらえ方が違う！
- ・地元に住んでいる、離れている思いの違い。住んでいても地域への想いの距離感が違う。
- ・小さい「嬉しい」を共有すること→地域につながるきっかけになるなあと考えた。
- ・何をすればいいのかわからなくても自分で発言することが大切だと分かった。
- ・小・中・高校で築いた関係を保っていくことも大切だと気付いた。

自分と異なる意見を聞いて 新たな発見はあった？



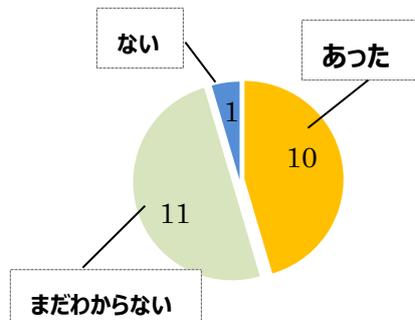
なかった

あった

地域で活動したいと思ったことは？

- ・「誇り」を見つける。
- ・地域の魅力を発信していきたい。
- ・挨拶
- ・市民みんなが共有できる「嬉しいこと」を見つけたい。
- ・これから地域に何ができるか考えていきたい。
- ・とりあえず「地元」で「地元」へのことを考える「場」を。

地域で活動したいと思うこと、 関心を持てること、見つかった？



ない

あった

まだわからない

おわりに ～若者ソーシャルカフェ in 神奈川の今後～

「若者ソーシャルカフェ in 神奈川」は2015年冬に A SEED JAPAN とソーシャルコーディネートかながわが共催となって企画したのがスタートでした。企画の趣旨としては「若者が地域や社会の現場に積極的に出て行ってその課題を知り、将来は社会の大きな課題を解決していく人になって欲しい」というような思いが重なるところもあり、2団体で協力体制を築きました。

また本企画は、公益財団法人かながわ生き生き市民基金を通じた市民の皆様のご寄付により運営しています。市民の多くの皆様が将来の地域や社会を担う人材として今の若者に期待をしていただいたこともあり、懇親会も含めすべて無料でのソーシャルカフェを催すことができました。

第2回目の若者ソーシャルカフェ in 神奈川も今年の秋から冬にかけて企画を作る予定です。若者が主役となって輝いていけるような社会を作っていくために、第1回目以上に質の高い会を目指していきます。



主催団体

NPO 法人 A SEED JAPAN

A SEED JAPAN は1991年に設立された日本の青年による国際環境 NGO です。私たちは国境を越えた環境問題とその中に含まれる社会的不正に注目し、より持続可能で公正な社会を目指しています。

ホームページ <http://www.aseed.org/>



一般社団法人ソーシャルコーディネートかながわ

地域の様々な主体による対話の場を育み、多様な主体が連携して地域課題を解決する動きを創り出す団体として2008年に活動が始まりました。市民団体・NPO 向けに研修会の開催や、地域社会で活動する市民、NPO、企業等の相談に応じています。

ホームページ <http://soco-kana.jp/>

